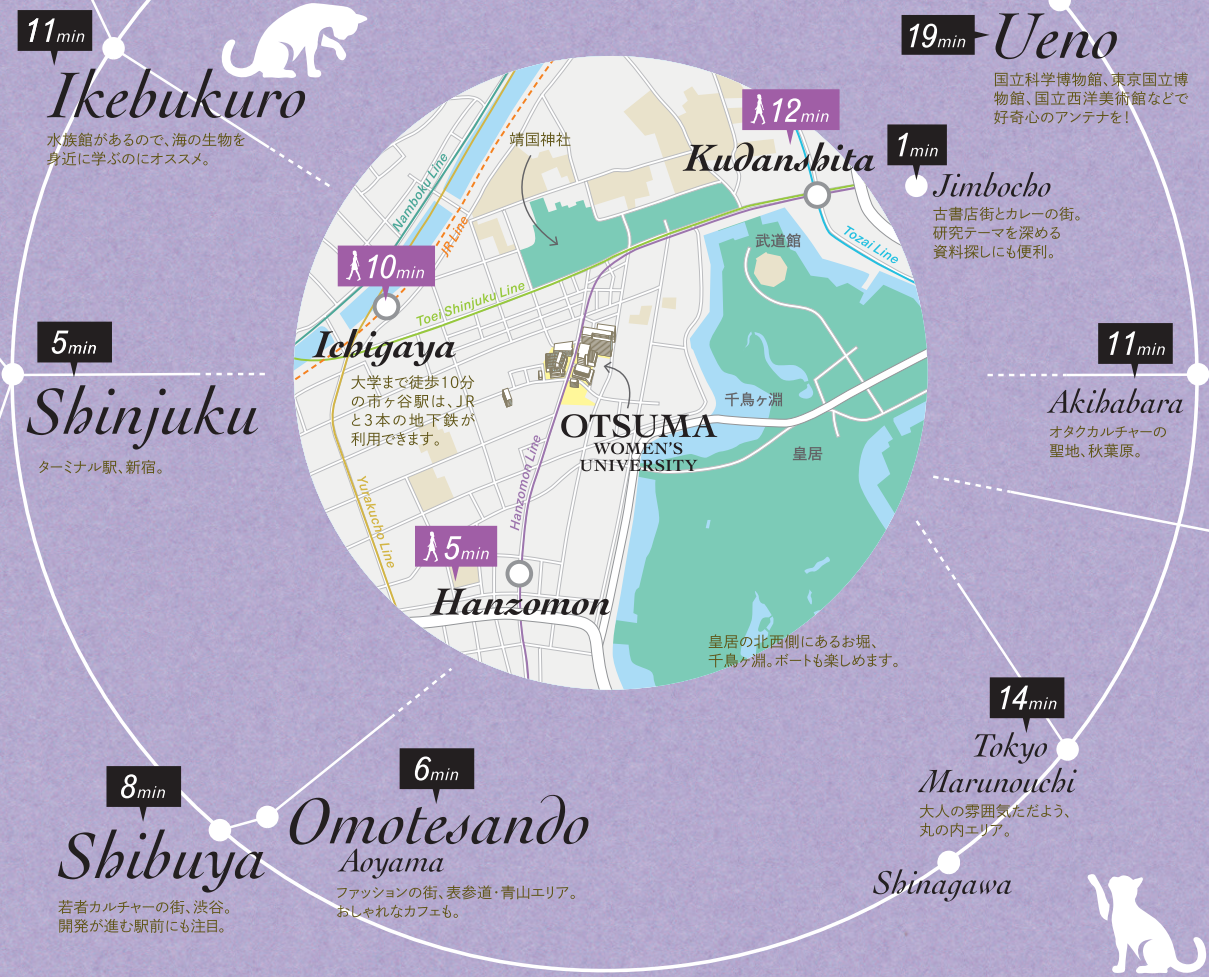


Access Map

東京のど真ん中にある千代田キャンパス。
立地を活かし、学びに遊びに、起動力あるキャンパスライフを過ごしてみては？




*位置関係はおおよその目安となります。
*所要時間はキャンパスの最寄駅(市ヶ谷・半蔵門・九段下のいずれか)から各駅までの所要時間の目安です。



ボードレスな
学びは
おもしろい。
環境デザイン専攻では、
文系や理系の枠にとらわれず
さまざまなジャンルやテーマから
総合的に環境を考えるという
ユニークな学びを展開しています。

NEW
2027年度から
「環境情報学専攻」の
名称が新しく
なります！

 **大妻女子大学**
社会情報学部 社会情報学科

環境デザイン専攻 ガイド 2026

GUIDE to Major in
Environmental Design and Science


大妻女子大学 千代田キャンパス

千代田キャンパスは、市ヶ谷駅から徒歩10分。半蔵門駅や九段下駅からも近くアクセスが便利な立地です。すぐ近くには、千鳥ヶ淵や靖国神社などの名所もありゆったりとした時間が流れています。また、各国の大使館も多く国際色豊かなエリアです。

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地 ☎03-5275-6000



本館E・F棟 H棟

 **入試・オープンキャンパス情報はこちら**

発行
大妻女子大学 社会情報学部
社会情報学科 環境デザイン専攻
<https://www.sis.otsu.ac.jp/kankyo/>

制作：株式会社エンナカ
AD+デザイン：金子英夫(テンテツキ)
撮影：佐藤洋彰(camp)
イラストレーション：Kazuya Shiohara(P02-03)

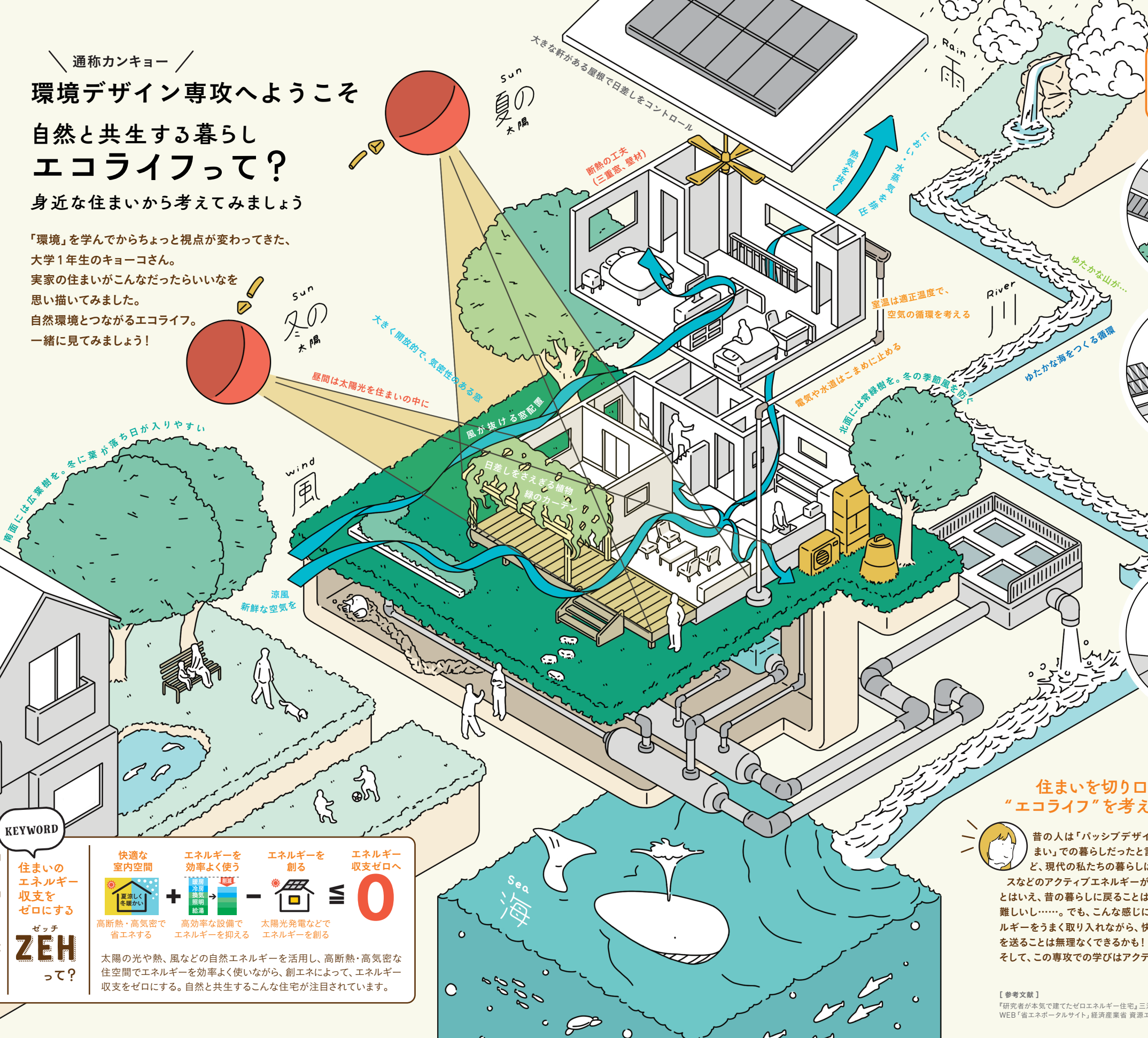
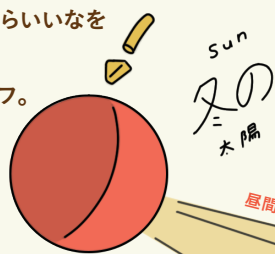
通称カンキョー

環境デザイン専攻へようこそ

自然と共生する暮らし エコライフって？

身近な住まいから考えてみましょう

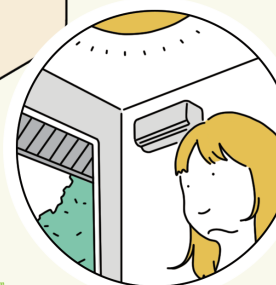
「環境」を学んでからちょっと視点が変わってきた、
大学1年生のキョーコさん。
実家の住まいがこんなだったらいいなを
思い描いてみました。
自然環境とつながるエコライフ。
一緒に見てみましょう！



自然のエネルギーを
うまく取り入れた
パッシブデザインの家
(受動的な)

高性能設備で
エネルギーを
上手に使う

省エネタイプのLEDや
家電製品を使うなど、高
効率のアクティブエネル
ギーを適度に賢く！



エネルギーを
創って活用しよう

太陽光発電などで創った
エネルギーを使ったり貯
めたり。



これらによってエネルギーの消費を抑え、快適で経済
的で、災害時にも強い、自然と共生する暮らしを目指
していきます。



暮らしは、川、海、
自然とつながってる！

例えば、洗剤やシャンプー
に含まれる化学物質が川
から海へと流入し、海や
生物に影響を与えること
も。知っていれば、どん
な商品を選ぶか、行動も
変わっていきます。



住まいを切り口に
“エコライフ”を考えると…



昔の人は「パッシブデザインによる住
まい」での暮らしだったと言えそうだけ
ど、現代の私たちの暮らしは、電気やガ
スなどのアクティブエネルギーが中心……
とはいえ、昔の暮らしに戻ることは現実的には
難しいし……。でも、こんな感じに自然のエン
ルギーをうまく取り入れながら、快適な暮らし
を送ることは無理なくできるかも！
そして、この専攻での学びはアクティブに！

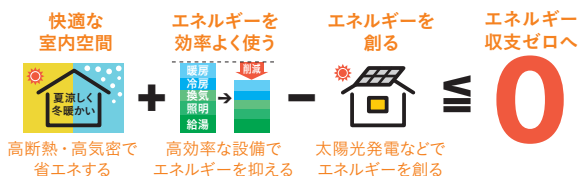
[参考文献]
『研究者が本気で建てたゼロエネルギー住宅』三浦秀一(農文協) 2017
WEB「省エネポータルサイト」経済産業省 資源エネルギー庁



KEYWORD

住まいの
エネルギー
収支を
ゼロにする

ゼッチ
ZEH
って？



太陽の光や熱、風などの自然エネルギーを活用し、高断熱・高气密な
住空間でエネルギーを効率よく使いながら、創エネによって、エネルギー
収支をゼロにする。自然と共生するこんな住宅が目目されています。

環境デザイン専攻で

環境を 総合的に学ぶ

私たちを取り巻く環境問題や自然のしくみに関する知識を身につけ、環境と共生する快適な住まいやまちづくり、社会づくりの視点から、持続可能な社会を目指す総合的な視野を養うことが目標です。

／ こんな人にオススメです！ ／



環境学について、文系・理系にこだわらず、広い視野で勉強したい。

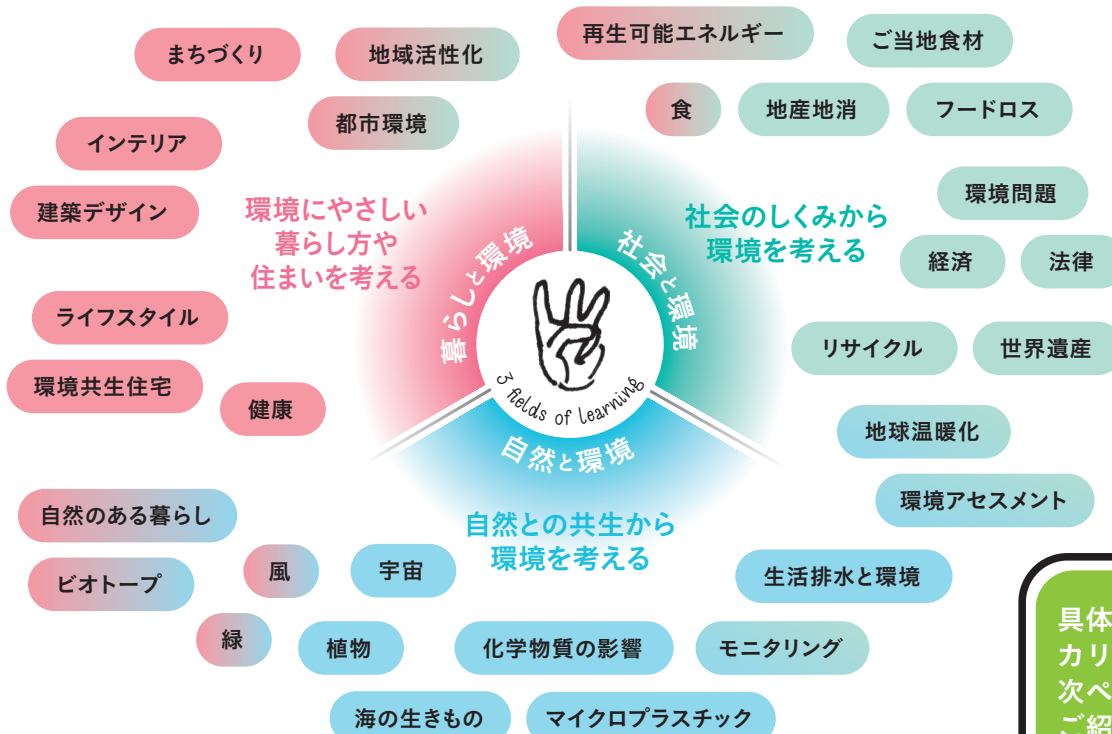


企業や家庭など、身近なところから環境問題の解決に取り組みたい。



環境に配慮したライフスタイルを楽しむ、エコライフに関心がある。

3つの学びのフィールドがあります。



具体的なカリキュラムは次ページでご紹介！

4年間の流れ

1年

基礎を固め総合的に環境の「今」を知る！

専門の基礎となる科目や、実験などの技術的なスキルについても丁寧に学んでいきます。講義のほか、野外での観察、まちづくりの様子の見学、フィールドワークの実習など、実体験を通して環境の「今」を知ることができます。

2年

専門科目を通して、知識やスキルの幅を広げる

2年生からは授業も少しずつ専門性が高まっていきます。また、自由に選択できる科目も増えていきます。1年次に興味関心をもったテーマに関連する科目を履修し、一歩踏み込んで知識やスキルの幅を広げていきます。

3年

ゼミで専門を深め、卒業研究に向けて準備をととのえる

3年生からはゼミも始まり、より専門的な知識を身につけていきます。ゼミを通して、先生や仲間たちと積極的に交流することで、コミュニケーションスキルが磨かれ、就職活動にも役立つ実践的な力が身につきます。

4年

学びの集大成！卒業研究に取り組む

興味を持ったテーマについて、観察、調査、実験や分析など、さまざまなアプローチで研究に取り組み、その結果を論文にまとめ、発表を行います。社会に出てから役立つプレゼンテーションスキルもアップしています。

それぞれの分野で
学んだ3人に
聞いてみました!

どんな4年間を過ごしましたか?

学びの基礎 となる必修科目



1年

- 環境学入門
- エコライフ論
- 情報処理実習
- 英語 (1~2年)

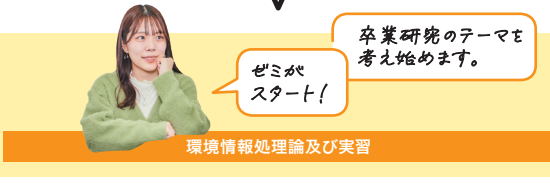
まずは環境の
入門編から!

2年



パソコンスキルも
語学力もレベルアップ!

3年

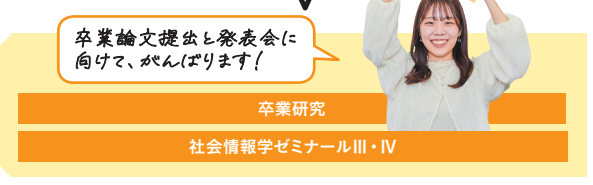


ゼミが
スタート!

卒業研究のテーマを
考え始めます。

環境情報処理論及び実習

4年



卒業論文提出と発表会に
向けて、がんばります!

卒業研究
社会情報学ゼミナールIII・IV

3人が学んだ選択科目の一部をご紹介します。

暮らしと環境 を中心に学ぶ

住まいやインテリアに
興味がある!

A子さん
北欧デザインの家具やテキスタイルが大好き! トータル空間としてのインテリアに興味があるので、インテリアや建築関連の資格を取って、仕事に活かしていきたい。

絵本*から学ぶ
周辺環境の
大切さ

世界の伝統的住宅での
パッシブな
暮らし

ZEH仕様による
省エネ性能住宅
での暮らし

現代の私たちにとっての
自然との共生について、
幅広い視点で学びました。

環境デザイン論 住居学

はじめの設計・製図!
専門性高まってワクワクする。

住居デザイン演習I 住居環境論

建築デザインの実習もみっちり!
イメージしていた暮らしを
模型にできると嬉しい!

住居デザイン演習II 環境とまちづくり 建築インテリア材料

環境とまちづくり

地域の方のお話を聞いて、
まちの課題を探ったり...

特殊講義(暮らしと環境)

設計提案

CADによる図面表現
やプレゼンテーション
技術も学びました。

環境とまちづくり

毎日見ているニュースを
もっと深くみられる
ようになりました!
就活にも役立ちました!

卒業研究のテーマは、
「SDGsと日本企業」
1~2年生の頃から
積み上げてきた
知識をフルに
活かせたと思います。

就職活動に関する懇談会で
貴重な情報交換も!

国際関係と環境法 環境教育 食と環境

両環境と
経済の
共生って
できるの?

社会や経済の
仕組み・成り立ちも
探っていました。

環境と経済I 環境アセスメント論

様々な国際会議に参加!
環境保全活動への理解を深め、
研究のヒントを探ります。
※写真は水俣条約会議

環境とアグリビジネス 環境とマーケティング 環境マネジメント論

社会と環境 を中心に学ぶ

身近な「食」から
環境を考えたい!

B子さん
ファストフード店でアルバイト
をしていくうちに、フードロス
や食材を無駄にしない企業の
取り組みに興味がある。身近
なところから自分ができる
ことを考えてみたい。

経営や法律など多様な視点から
環境との関わりについて学んでいきました。

環境デザイン論 経営と社会

身近なテーマから
自然科学に触れられます。
理系が苦手でも基礎から
学べるので安心でした。

化学の基礎 自然科学入門

何気なく使っている洗剤が、
自然にこんなに影響あるの?
実験を通して、暮らしの見方が
変わりました。

地球環境論 生命のしくみ

教室を飛び出し、フィールドワークで
街や河川に調査・測定に行ったりも。

フィールドワーク 健康と環境

暮らしの中の廃棄物が
自然に与える影響に
興味をもちました。
卒業研究では
「油の汚染が植物の
成長に及ぼす影響」を
研究しました。

環境生態デザイン エネルギーと環境 ビオトープ論

専攻の
全体カリキュラムは
こちら

専攻の
履修モデルは
こちら



学びながら取得できる！新たな資格

2025年度生から取り入れている、新規導入の資格と科目をご紹介します。
環境・建築・ITなど、授業で学びながら資格取得できるのが特徴です。
学びを深め、確実なスキルへつなげていきます！



おもに1年

eco 検定 (環境社会検定試験)
(東京商工会議所)
多様化する環境問題を幅広く体系的に学べる環境教育の入門編。ビジネスと環境の相関を的確に説明する力を身につける。

関連科目 「環境学入門」「エコライフ論」など



2年

キッチンスペシャリスト資格試験
(インテリア産業協会)
キッチンを中心に生活者のニーズに合わせて、空間・機能・設計・施工の知識を活かし、快適で使いやすいキッチン空間を提案する。

関連科目 NEW「キッチンデザイン演習」「住居デザイン」など



2年

うちエコ診断士
(地球温暖化防止全国ネット 環境省環境人材認定事業)
各家庭の住まい方やライフスタイルに合わせた適切なアドバイスや提案を行うことができる、環境省認定の公的資格。

関連科目 NEW「住環境とエコデザイン」など



1~3年

環境カオリスト検定
(日本アロマ環境協会/AEAJ)
植物とその香りの恵み、SDGsの取り組み、豊かな地球環境を未来に引き継ぐ身近なエコアクションについて学ぶ。

関連科目 「環境情報学基礎演習」「環境学入門」「エコロジー」「地球環境論」「食と環境」など



おもに3年

インテリアコーディネーター資格試験
(インテリア産業協会)
インテリアや住宅、商品に関する幅広い知識・専門的な技術などを駆使し、住空間をトータルにプロデュースする。

関連科目 「住居デザイン演習I」「住居デザイン」など



3年

環境測定分析士3級
(日本環境測定分析協会)
大気汚染物質、水質汚濁物質や騒音などの環境測定分析業務を行う現場技術者の資格。改善策や防止策を立案する。

関連科目 NEW「健康と化学物質」など



3年

建築CAD検定2級
(全国建築CAD連盟)
CADを利用して建築図面を作成するための知識や技術力を認定する実践型の資格試験。(2026年度から認定校に)

関連科目 NEW「CAD演習」など

ほかにもこんな資格で可能性を広げられます！

科目履修で取得できる資格

- 二級建築士(受験資格)
- 木造建築士(受験資格)
- 中学校・高等学校教諭一種免許状(理科)
- 学校図書館司書教諭
- 図書館司書 博物館学芸員
- レクリエーション・インストラクター

その他目指せる資格

- 2級ビオトープ計画管理士
- 2級ビオトープ施工管理士
- 環境マネジメントシステム審査員補
- 環境管理士
- 環境プランナー・ベーシック

他にも、「基本情報技術者」や「ITパスポート」など、ITのスキルアップに役立つ資格の特別対策講座も開設しています*。

ITパスポート

ITに関する基本的な知識を証明する、経済産業省認定の国家資格。情報技術に関わる仕事に活かせる基礎的な内容のため、就職を視野にいれて取得する学生が多い人気の資格。

資格取得者の体験談は18ページに！

3年生からはじまる

ゼミでの学び

先生やゼミの仲間と一緒に環境をテーマに意見を出しあったり、文献を読んだりして、卒業研究に向けて興味のあるテーマを見つけていくのがゼミ。気になるキーワードから興味のあるゼミを選んでさらに専門的に学びましょう。

暮らしと環境



- 住環境の「再生」
- 子育て家族の住まい
- 都市計画・住宅問題

▶10P

- 都市の風
- 住まいの熱・換気
- 快適で省エネな暮らし

▶10P

- 人と環境のつながり
- 地域における場づくり
- 建築とまちのデザイン

▶11P

- ライフスタイル・住空間
- 気候風土と環境共生デザイン
- 住居・都市の内装木質化

▶11P

社会と環境



- 法律 □政策
- 経営 □国際会議
- グローバルな視点

▶12P

- 環境と経済の両立
- 環境省/環境白書
- 文化と社会問題

▶13P

- テロワール(特産食材)
- 地域の食文化
- 風土と文化・歴史

▶13P



自然と環境



- 海の生きもの
- 環境汚染物質の影響
- 海の大切さを伝える

▶14P

- 身近な化学物質
- 植物に与える影響
- 河川の調査と分析

▶14P

- 大気・河川の化学物質
- 化学物質の測定
- 環境リスクの評価

▶15P

- 宇宙の成り立ち
- 天体観測
- 科学を伝える教材作り

▶15P

*大妻女子大学では、「基本情報技術者試験」と「ITパスポート」の国家試験の合格を目指す対策講座のほか、MOS(Word/Excel/PowerPoint)、Adobe認定プロフェッショナル(Photoshop/ Illustratorなど)やWEBクリエイター認定試験といったクリエイティブ系の資格取得のための講座も開講しています。

地域の魅力と住環境の「再生」をワークショップなどから考えます。

ゼミでは、おもに郊外の住宅地の住環境の変化や居住者の住まいのニーズを把握するために、アンケート調査やワークショップを開催して、積極的に住民との意見交換を行っています。多摩市との地域連携プロジェクトでは、住まいへのさまざまな考え方にふれ、身近な環境を魅力あるものにしていくアイデアを提案しました(2020年まで)。「街区公園」では、自分達で管理して快適な場所(地域の庭)にしていくための協働について考えていきます。二級建築士の国家試験受験資格の取得もめざせます。



松本暢子 教授
Nobuko Matsumoto

東京都生まれ。卒業研究は、同潤会代官山アパートの居住者調査で、調査に奮闘した経験が現在の研究につながっています。いわき市豊岡で被災者の声を聴く活動と住宅再建の復興支援を行っています。サッカー観戦や美味しいものを食べることが至福の時。



学生作品「ギャラリーカフェ+住宅の設計」(住宅課題賞2022入選)。街の“余白”を活かし周辺環境と一体になる“渦”のような空間を創造。身近な環境をより魅力あるものにしていくアイデアを模型に落とし込み、提案していきます。



子育て世代の住環境調査

多摩市で子育てをする家族にとって「多摩の魅力と課題は何か?」を参加者と共有し、提案書にまとめました。



地域連携プロジェクト

多摩市公園緑地課とともに「多摩中央公園改修」のための市民ワークショップ・社会実験に関わり意見交換をしています。

ゼミの主な研究テーマ 卒業生の研究テーマの一例です。

- 子育て家族の住まいと住環境について
- 市民ワークショップから考える公園の再生 — 多摩中央公園の社会実験
- 首都圏分譲マンションの供給に関する研究
- 東急田園都市「美しが丘地区」のまちづくり
- 住宅セーフティネットとしての居住支援協議会の現状と課題
- 分譲マンションの管理の実態



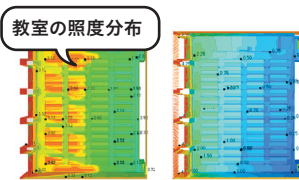
風速や風の感じ方、気温や湿度などの調査

屋外で風速計を用いて風速の測定と風の強さを体感したり、室内の二酸化炭素濃度や明るさの測定を行い、データを収集します。



実測結果を分析

風速計や二酸化炭素濃度計などで測定した結果を、パソコンに取り込み分析します。



データの解析

調査結果のデータを解析。快適な環境づくりのための効果的な方法を探っていきます。

住居に関わる風の流れや熱を調査し、快適で省エネな暮らしを考えます。

私たちが快適で健康的に暮らすためには、どのような環境が必要になるでしょうか? 冷暖房エアコンなどの利用が当たり前になっている今、“風の通り道”を知ること、環境と人に優しい快適で省エネな暮らしの実現に近づくことができます。ゼミでは、風速計、温熱環境や二酸化炭素の測定器などを使い、住まい、学校や公園など住環境の調査・分析をしています。建築の基本を学びながら、機械だけに頼らない省資源・省エネの視点で、自然に配慮した暮らし方と住居の工夫について考えていきます。



白澤多一 教授
Taichi Shirasawa

鹿児島県生まれ。学生時代は、毎日のように実測調査に出かけたり、研究室にこもって遅い時間までプログラムを書いていたり。帰宅する車内での東の間の読書が、息抜きできる貴重な時間でした。最近は、家族と過ごす時間を大切にしています。

ゼミの主な研究テーマ 卒業生の研究テーマの一例です。

- 大妻女子大学講義室におけるパーテーションの設置が換気効率に及ぼす影響
- 計量テキスト分析による風速と風の感じ方・目撃した事象に関する検討
- 移動測定に基づく大妻女子大学周辺の暑熱環境調査

人と環境の関係性をひもとき、まちや建築、生活のかたちを考えます。

人間をとりまく「環境」という複層的な視点は、さまざまな課題を同時に抱える今日の地域社会において、その解決策を総合的に検討できる重要な研究分野の一つです。私のゼミでは、みなさんが日々暮らしているまちや建築などの物理的環境に着目します。そして、そこでみられる人間の行動や地域における活動を調査・研究したり、建築物を設計したりすることで環境にアプローチし、人々の関わり方や生活に結びつく提案を考えていきます。



生田尚志 専任講師
Hisashi Ikuta

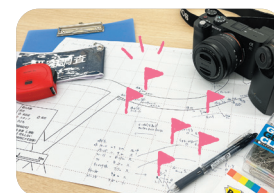
神奈川県生まれ、大阪府育ち。大学では研究に打ち込んでいましたが、遊ぶことも大切な学びのひとつです。面白そうな事例はすぐに見に行ったり、母校のスポーツの応援で遠征したりと、興味があればどこへでも足を運びます。

ゼミの主な研究テーマ おもな研究テーマの一例です。

- 地域コミュニティやまちの居場所に関する研究・設計
- 公園など地域の公共空間を使った場づくりの研究
- 建物の使われ方や人間の行動に着目した研究・設計
- 地域の文化や伝統の活用に関する研究・設計
- ICTを活用した新しい参加型まちづくりの研究
- 環境問題に寄り添う建築やまちづくりの提案



学びのSTEP 見る・知る まちあるきや建築事例の見学をします。気づいたことや感じたことはゼミ内で共有し、他の人の視点からも学びを得ます。



学びのSTEP 調べる

現地での調査や文献の収集などをします。社会に生かせる知見を最終的に提案できるように、地道に作業を進めていきます。



学びのSTEP 実践する

研究発表、まちづくり活動への参加・実践、外部コンペへの応募など、取り組んだ成果を実際のまちや社会の中で実践します。

Vienna 「Hundertwasserhaus」



環境共生集合住宅・住み方調査

持続可能な住宅建築を提案するため、世界的に有名な建築を調査して、屋上庭園や中庭を取り入れ緑化された建築・住環境を見学。設計・提案に活かします。



ライフスタイルと住空間の提案

環境に調和したライフスタイルと自然を活かす住居デザインを提案するため、持続可能な住環境を調査・分析・設計。



木育・環境活動に参加

ウッドチェンジによる木育、内装木質化、国産木材の活用を軸に、都市の持続可能な住環境づくりを共創します。

自然と人に配慮した住居・住環境のデザインを考えます。

都市化にともない庭を持たない住宅が増え、日常生活の中で自然を感じる機会が減少しています。緑や木の香り、光と清潔な空気という環境要素を住まいの中でどのようにデザインするか、これは豊かで快適な住生活の基本的なテーマです。環境に配慮したライフスタイルの動向を分析し、アクションリサーチに基づき、人と自然が調和する快適な住まいを探究します。環境に配慮した住空間のあり方を探り、持続可能な住居・住環境デザインを実践的に学びます。



牧野唯 准教授
Yui Makino

神奈川県生まれ。横浜の洋館に親しみ、京都の町家に影響を受け、歴史的居住地を研究対象として、木の建築、畳空間の文化を継承する「大人の木育」に励んでいます。インテリア・建築・街並み巡りがライフワークです。

ゼミの主な研究テーマ おもな研究テーマの一例です。

- 自然と調和した住居デザイン—中庭との連続性—
- ライフスタイル特性からみた住環境整備に対する意識
- 歴史的建築を活かした地域交流拠点の提案
- 環境に優しい自然素材を取り入れた住空間の提案
- ペット共生住宅—衛生・設備—の研究・設計

法律、政策や経営などグローバルな視点で環境を考えています。

ゼミでは、食品ロス、プラスチックの海洋汚染、地球温暖化など世界が抱える環境問題を、各国ごどのような制度や政策のもとに取り組んでいるか、また、エコカーなど企業がCSR(企業の社会的責任)として行う環境に配慮した取り組みなど、法律、政策や経営の観点から研究しています。英語に自信がなくても、自分の興味からテーマを決めて研究したり、さまざまな国際会議を見学したり、ゼミを通して語学力のレベルアップにもつながります。環境問題をグローバルな視点で見ていくことで、私たちが今できることを一緒に考えていきませんか? 4年生との交流も多く、気軽に相談ができるゼミです。



木村ひとみ 准教授
Hitomi Kimura

愛知県生まれ。日米の大学、大学院、民間企業、研究所を経て本学へ。気候変動法が専門です。企業が「ISO」を取得するためのコンサルタント会社に勤務経験があります。趣味は、ジョギングなどのスポーツのほか作曲や料理。



国際会議の見学

これまで、生物多様性条約第10回締約国会議(COP 10)、ESDユネスコ世界会議や水俣条約外交会議など、国際会議に積極的に参加しています。



ゼミ合宿で世界遺産を見学

ユネスコの英語版サイトや文献で勉強をしてから、世界遺産に登録された資産のある長崎県を訪問。憲法や戦争について考える機会にもなりました。

東北植林復興ボランティア

仙台津波復興支援センターでのがれき処理、津波から命を守る「森の防潮堤」をつくる植林に参加しました。



ゼミの主な研究テーマ

- 国内外の飲食店のストロー廃止の取り組み調査
- 存続の危機にある世界遺産の調査
- 震災時に海外に漂流した災害廃棄物の課題と法律や条約との関わり
- 日本の公害が生態系に与えた影響と今後の課題について

SDGs とゼミ



SDGsとは、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。

環境デザイン専攻では、17のゴールのうち、自然環境、住まいやまちづくり、食やエネルギー、経済や法律、環境教育など、幅広い内容について学ぶことができます。例えば、「フードロス削減」を考えてみると、ゴミ問題や「つくる責任」など、さまざまな課題が複雑に関連しています。本専攻でフィールドを横断して環境を学ぶことで、多角的にとらえることができるようになります。ゼミのおもなテーマとともにその一部を見てみましょう。



ゼミに関連するSDGs 17の目標



「環境と経済の両立」を社会科学の視点からゼミ生みなで考えます。

持続可能な社会をつくるために、自然環境と社会環境の関わりについて、経済や法律といった社会科学の視点で考えていきます。『環境白書』を読み、仲間とともに考え活発な意見交換をしています。環境省の訪問他、国際的な活動をしているNPOや国際協力事業団などの専門家、環境経営に係わる企業の方などをゼミに招いて、実際の社会環境がどのようなものなのかを聞く機会も。環境に対するさまざまな考え方をすることで、自分の興味や視野を広げるきっかけになっています。ISO14001内部環境監査員の資格取得者も多いゼミです。

黒沼吉弘 教授
Yoshihiro Kuronuma

東京都生まれ。学生時代に南太平洋でイルカと会話したことから得たヒントが研究の成果に。休日は、貝殻拾い、潮干狩り、磯遊び、釣り、海水浴、シュノーケリング、スキューバダイビング、セーリング、ホエールウォッチング等、海で遊ぶのが楽しみです。



みんなで環境省を訪問しました!



環境省訪問とディベート

毎年発行される「環境白書」から環境問題の現状と最新データを知り、担当部署を訪問し意見交換も行っています。



ゼミ研究報告会(2025年2月9日)

年に一度、黒沼ゼミ生2・3・4年生とOGが集まり、3・4年生の研究報告をもとにみんなで考え真理を追求!

ゼミの主な研究テーマ

卒業生の研究テーマの一例です。

- 海・森林・山・大気・宇宙などに関わる管理問題(水循環、世界自然遺産、農林水産業など)
- SDGsなどの人間社会と自然環境にかかわる諸問題(食料問題、自動車産業、廃棄物、リサイクルなど)
- 文化・経済などにかかわる社会環境問題(音楽、アニメ、飲酒、コンビニ、スポーツ、化粧品など)

「テロワール」から地域の自然環境と文化を考えます。

テロワールとは「風土の、土地の個性の」という意味のフランス語で、近年では各地の特産食材を語るにも使われます。同じ地域の農地は土壌、気候、地形、農業技術が共通するため、作物にその土地特有の性格を与えています。私たちは「地域」にフォーカスし、どのような特産食材や特産加工品があるかを探り、そこから土壌、気候、地形、農業技術について掘り下げることで、その地域の伝統、歴史、さらには文化について考えていきます。



氷見英子 教授
Eiko Himi

東京都生まれ。学生時代に読んだ「真昼のプリニウス」(池澤夏樹著)に出てくる女性科学者に憧れて研究の道へ。趣味は読書、クラシック音楽鑑賞、水族館や植物園めぐりと、旅先で現地の食文化に触れること。



淡路島の「吊り玉」は夏の風物詩です。

お店で並ぶ野菜はどこでどうやって育てられているのか、実際に栽培されている畑に行き、栽培技術を見学し、収穫体験を行います。



ご当地グルメの調査から

地域特産の食材を使ったご当地グルメにはどんなものがあるか、調べて、行って、食べて、味わって、その奥にある文化を考えます。



地域に根ざした植物の利用

北見のハッカや富良野のラベンダーなど、「香り」に特化した地域特産の加工品について調べ、地域に根ざした植物の利用を考えます。

ゼミの主な研究テーマ

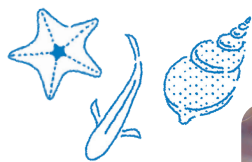
おもな研究テーマの一例です。

- 東京の在来野菜・伝統野菜
- 「和食」に取り入れられている野菜の歴史
- ご当地バーガーに使われている各地の食材
- 「香り」を生み出す植物の地理的分布調査

何の野菜の花かわかりますか?
※答えは下に

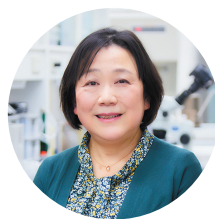


A. オクラ。スーパーで目にするのは花が咲いた後にできる英(さや)



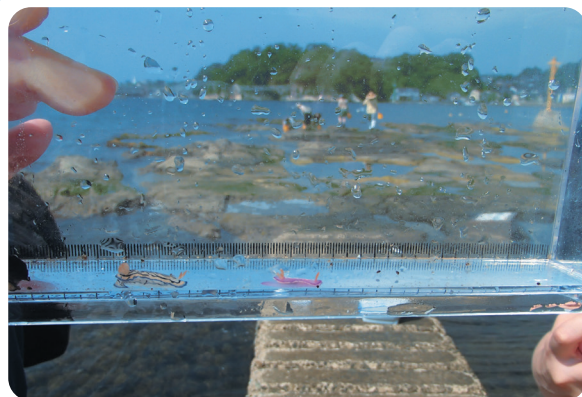
生きものの魅力に触れ、海や自然環境の大切さを考えます。

おもに、海の生きものについてさまざまな研究をしています。海辺のフィールドワークでは、磯に棲む生きものを紹介する「海の観察ガイドブック」を他大学と共同で制作したり、地域交流として能登半島を訪れたり。他にも、マイクロプラスチックに関する実験や、海と食をテーマにした「海育(うみいく)」の活動なども行っています。生物の視点から環境問題をながめ、各自が興味を持ったテーマを通して自然環境の大切さを考えていきます。



細谷夏実 教授
Natsumi Hosoya

東京都生まれ。大学時代は、バレーボール部、軽音楽部、テニスサークルを兼部し、気力体力を養いました。大学院でウニやヒトデの卵を使った細胞分裂の研究を始めて以来、海との付き合いは30年以上。趣味はスポーツ全般の観戦、健康のためのジム通い。



磯に棲む生きものを観察したり、小学校で「里海スクール」を開催するなど、さまざまな体験と交流が、海や自然の魅力を知るきっかけとなっています。



ミクロの世界を観察する

スマホやタブレットに装着して簡単に観察できるモバイル顕微鏡を活用した実践や教材づくりを行なっています。



「うみいくカード」の制作

地域の小学校と協力して、子どもたちが地元の海で体験したことを絵と文章で表現。それをカードにして配布。

ゼミの主な研究テーマ

卒業生の研究テーマの一例です。

- マイクロプラスチックや農薬、食品添加物などが水生生物へ及ぼす影響の検討
- 子どもたちに海の大切さや楽しさを伝える「海育」の取り組み—ガイドブックや教材作成など—



環境モニター調査

多摩川と荒川の水質調査を行っています。河川の水質の違いや、定点観測をすることで、環境への負荷がどう変わっていくか観察していきます。

ハツカダイコン等の植物をLEDライトの人工気象機で栽培している様子。比較すると、はるかに成長に違いがでています。



化学や生物の基本から

試薬作りから植物の育成・微生物の培養まで。化学式などが苦手な人でも、基本から学び、実験を丁寧に行うことで化学の視点を養います。



植物への影響を観察

生活排水に含まれる油やマイクロプラスチック等の化学物質が植物の成長に与える影響を、実験を通して明らかにしていきます。

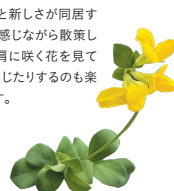
日常生活で使われている身近な化学物質から環境を考えます。

自然環境に大きな影響を与えている水質汚染の原因の約70%は、生活排水に由来すると言われています。ゼミでは、家庭のキッチンから流される油や洗剤などの化学的な性質を学び、それらを土壌に含ませた時の植物への影響などを研究しています。日常生活で何気なく使っているさまざまな化学物質が、私たちの生活環境にどのようなインパクトを与えているのかを実際に感じることで、毎日の生活の中からライフスタイルを変えていこうとする意識の変化にもつながります。また、自然や社会環境への負荷を軽減するために、何が必要かを考えていきます。



鈴木優志 准教授
Masashi Suzuki

東京都生まれ。植物生理学を専門にしています。自然や歴史の残る場所など古さと新しさが同居する郊外の魅力を感じながら散策したり、公園や路肩に咲く花を見て季節の変化を感じたりするのも楽しみのひとつです。



ゼミの主な研究テーマ

- 油や洗剤が植物の成長に与える影響の解析
- 植物によるマイクロプラスチックの取り込みとその影響
- 大学周辺の河川等における定期的な環境モニター

環境中の化学物質を調査・分析し、わかりやすく伝える方法を考えます。

ゼミでは、化学物質がどのくらいどの量でどんな害を及ぼすのかを知り、環境中にどのくらいの濃度で存在しているのかを調査・分析することで、「化学物質の環境リスク」を評価する方法を学びます。また、さまざまな視点を取り入れながら、結果を「見える化」し、人にわかりやすく伝える方法を考えます。化学分析もしますが、化学が苦手な人でも大丈夫です。ゼミで学んだことを活かして、環境測定分析士3級の資格も目指せます。目に見えない環境中の化学物質を数字で知ること、日常生活での視点も変わってくるおもしろさがあります。



四ノ宮美保 教授
Miho Shinomiya

高知県生まれ。環境分析と環境毒性学を専門に研究しています。環境省に在籍している時は、おもにダイオキシン類など環境汚染物質の測定方法を教える仕事をしていました。趣味は、川の写真を撮ること。故郷でもある高知の仁淀川や西東京の川など、自然の中で美しい川の風景を撮っています。



大気や河川水中に存在する「目に見えない」化学物質を実際に測定する体験が、「化学物質の環境リスク」の深い理解へとつながります。



調査・分析結果のマッピング

地図上に調査・分析した結果を表示することで、有害物質によるリスクを一般の人にもわかりやすく伝える方法を学びます。



環境研究所の見学とヒアリング

地方自治体の環境研究所に行き、汚染物質の環境モニタリングや環境保全に係る最新研究の話や環境保全を通して知見を深めます。

ゼミの主な研究テーマ

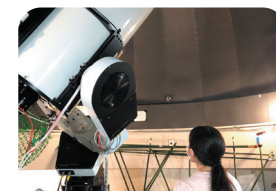
おもな研究テーマの一例です。

- 環境中の有害物質のモニタリング調査
- 環境化学物質による細胞毒性メカニズムの解析
- 有害物質による環境リスクマップの作成



自然をよく観察する

地球環境を理解するためには、自然をよく見るのが重要です。ゼミでは、気象観測や地層観察など、フィールドでの観察とデータ収集を行います。



天体観測

小型望遠鏡を用いて、太陽や惑星を観察します。東京大学木曾観測所や国立天文台野辺山電波観測所など研究機関の観測装置を使った実習も行います。

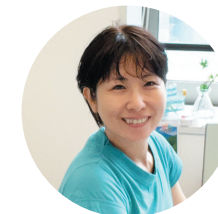


「宇宙」を伝える

卒業研究は、観測した天体のデータ解析、宇宙をテーマにした立体模型作り、惑星の軌道のプログラミングなどさまざま。自由に研究を楽しみましょう。

宇宙を観測し、地球環境と私たち人間との関わりについて考えます。

私たちは、多種多様な生命が暮らす「太陽系第三惑星 地球」の住人です。生命、地球、太陽はどのように誕生したのでしょうか？ 私たちも地球も宇宙の一部であり、宇宙を知ることは、私たち自身を知ることにつながります。最近では、宇宙旅行や宇宙開発に関するニュースも増え、今後、「宇宙」はますます身近な存在になっていくことでしょう。ゼミでは、天体観測や自然観察などのフィールドワークも行いながら、自然科学の観点から地球環境を学びます。



下井倉ともみ 准教授
Tomomi Shimoikura

鹿児島生まれ。物心ついたころから星空に興味がありました。幼少時は星がなぜ輝くのか不思議で仕方がなく、その時の「なぜ？」が今の研究につながっています。休日は登山を楽しんでいます。

ゼミの主な研究テーマ

卒業生の研究テーマの一例です。

- 最新の天体観測データを用いた解析から恒星がどのように誕生するか探る
- 身近な生活環境から微隕石を探る
- 科学を一般向けにわかりやすく伝える教材の開発(恒星の一生を立体模型で表現、オリジナルの日時計製作、地層の立体模型製作など)

A Day in the Campus



ある日の千代田キャンパス

カンキョー（環境デザイン専攻）の所属する社会情報学部は千代田キャンパスにあります。H棟には、講義室、ゼミ室、情報処理自習室、研究室などが入っています。H棟、隣に建つ本館、大学校舎の一部をご紹介します。

千代田キャンパスは大妻通り沿いに校舎が並び、街にひらかれた都市型キャンパス。本館F棟エントランスにて。

A Day In The Campus

H棟で学ぶ

Lecture Room



講義室で授業
H棟の1、2階にある講義室。情報化社会に相応しい充実した設備となっています。



PC Room



パソコンルームで情報収集!
情報処理自習室は、日々の調べ物はもちろん、レポート作成や就職活動の情報収集にも活用できます。

Kotacafé



学生食堂 kotacafé でおいしいランチタイム

本館F棟2階には、創立者・大妻コタカ（下）にちなんで名付けられた学生食堂 kotacafé があります。メニューは、栄養バランスを考えた日替わりランチをはじめ、ホテルニューオータニのレシピが基になっている特製「大妻ビーフカレー」まで充実のラインナップです。

230席ある椅子の大半は、北欧デザイナーズチェアの名品。

Library



図書館でテレキューブ活用

テレキューブという予約制の個別ブースがあり、就活やオンライン講義などに特化した設備が導入されています。

大妻コタカは猫をとでも可愛がっていました。学内には愛くるしい猫の銅像があります。



Atrium & Lounge



「大妻サポート」でお買い物

アトリウムの奥には、購買部のほか、証明写真の撮影や免許の申し込み、袴のレンタルなど多方面からキャンパスライフをサポートする「大妻サポート」があります。

Kotaka Kitchen



Lounge Ryoma



アトリウムでティータイム

「KOTAKA KITCHEN」ではおいしい定食が、焼き立ての石窯ピザやパンも人気です。また創立者・大妻コタカの夫・良馬から名付けられた「LOUNGE RYOMA」はソファー席のある居心地のよい空間です。

アトリウムでリラックス

未来 TALK

将来を描きながら
自分の視野や
可能性を広げよう！

学びながら
取得できる資格
の詳細は
8ページに！

学生時代の話先輩たちに聞いてみました！

就職・進学

本学では1年次からの就職指導で、さまざまな業種への高い就職実績を実現しています。

環境デザイン専攻のおもな就職・進学先

業種	企業名
建設	積水ハウス/大和ハウス工業/タマホーム/Open House/パナソニックリビング/TOTOアクアエンジニアリング/トラス/スウェーデンハウス/パナソニックリフォーム/藤田建築/パナソニックEWエンジニアリング/大東建託
製造	在原製作所/信越化学工業/スタンレー電気/TDK/ディスコ/日本信号/日本発条/日本海水/ホーチキ/松村電機製作所/村田製作所/東ソー/YKK AP
情報通信	東芝情報システム/NTTコムウェア/日立ICTビジネスサービス/キャノン電子テクノロジー/NSD/NTTデータSMS/さくら情報システム/ソフトバンク/DTS/日立社会情報サービス/富士通エンジニアリングテクノロジーズ/三菱総研DCS/ジョンソンコントロールズ
運輸	JALスカイ/東日本旅客鉄道
卸売・小売	大塚商会/キャンマーケティングジャパン/ダイキンHVACソリューション東京/東京エレクトロン/日本化成/三菱商事ケミカル/パナソニックリビング
金融・保険	ゆうちょ銀行/国際協力銀行/八十二銀行/横浜銀行/大和証券/野村證券
不動産・物品賃貸	住友不動産販売/三井不動産/三井不動産リアルティ/三菱地所プロパティマネジメント/タカラレーベン
専門サービス	砂防・地すべり技術センター/三菱重工環境・化学エンジニアリング
宿泊・飲食サービス	クリーズコーヒージャパン
教員	相模原市教育委員会
公務員	警視庁/東京消防庁/東京都住宅供給公社
主な進学先	千葉大学大学院/東京学芸大学大学院/東京大学大学院/日本女子大学大学院/大妻女子大学大学院

留学

半年間のカナダ留学で得た、語学力とチャレンジ精神

小川桃佳さん(2026年3月卒業)

留学先 カナダ ヨーク大学附属英語学校(YUELI)

語学力を高めながら、視野を広げ、多角的に物事を見られるようになりたいと思い、半年間のカナダ留学を決意しました。現地では環境保護ボランティア活動や多国籍の友人との交流を通じて視野が広がり、挑戦する力も育ちました。多角的な視点は英語だけでなく、環境問題を学ぶ上でも非常に重要です。この専攻を目指すみなさんも、多様な価値観に触れながら自分の興味や可能性をのびのびと広げていけることを願っています。



就職

教員採用試験(理科)に合格しました！

丸田絵里佳さん(2023年3月卒業)

環境について理系・文系の両面から学び、さまざまな視点から考えることができました。実際に教員として働く中で、教科指導はもちろん、生徒指導の際にも活かされているとよく感じます。卒業研究では実験手順や結果をわかりやすく伝える方法についても意識していました。授業やゼミでは自分がなるほど！おもしろいな！と思った部分を大切にしてください。その好奇心が学びを深める手助けをしてくれると思います。



進学

大妻女子大学大学院

人間文化研究科 人間生活科学専攻 生活環境学専修

山本彩加さん(2026年3月卒業)

進学を志望した理由は、ゼミで天文学を学び、さらに学びを深めたいと思ったからです。文系出身でも本格的な天文学を研究できる研究室があることは私にとっては幸運でした。大学院では恒星の進化をテーマに研究します。環境デザイン専攻には幅広い専門分野の先生方がいらっしゃいます。自分の興味のある分野を見つけると、充実した学生生活が送れると思います。



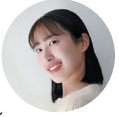
進学

千葉大学大学院

園芸学研究科 ランドスケープ学コース

関根有莉愛さん(2024年3月卒業)

授業やゼミで学んだ専門科目を深めたいと思い、進学を決意しました。受験勉強と卒業研究、アルバイト等の両立が大変でしたが、学校の図書館等を活用し、集中して勉強する環境を整えることを意識しました。また、他大学を受験したため、内部生との知識量の差に不安がありましたが、これまでの授業資料が役に立ちました。環境デザイン専攻は、幅広い分野について学ぶことができるため、興味関心や可能性を広げていけると思います。



二級建築士

環境デザイン専攻の所定の科目を取得することで、実務経験なしで受験資格が得られます。

※単位の取得状況に応じて、実務経験年数が1年、または2年となる場合もある。

2級ビオトープ計画/施工管理士

地域の野生の生きものが生息する空間を守り、自然を活かした暮らしと社会の実現が、ビオトープ管理士の仕事です。さまざまな企業・自治体が、環境評価資格として活用しています。

ITパスポート

ITに関する基本的な知識を証明する、経済産業省認定の国家資格です。情報技術に関わる仕事に活かせる基礎的な内容のため、就職を視野にいれて取得する学生が多い人気の資格です。

さまざまな資格を取得した先輩たちの声を紹介します！

資格取得

インテリアコーディネーターに合格しました！

菅野唯菜さん
(2025年3月卒業)

高校時代に会ったインテリア関係の仕事をしている方に影響を受け、私も人の暮らしを支える空間を提案したいと思い、インテリアコーディネーターを目指しました。試験では、幅広い知識が必要になります。そのため、授業や卒業論文との両立に苦戦することも多くありましたが、講師の方々の指導や助言とゼミの仲間同士の励まし合いが大きな支えになり、無事に資格を取得できました。幅広い知識を身につけることができるため、就職後もとても役に立っています。



(資格取得:2024年12月)

今は住宅設計の仕事に携わっています！

受験資格を取り、卒業後に二級建築士に合格しました！

西村ひなのさん
(2025年3月卒業)

高校時代にフランスへ短期留学した際、歴史的街並みに感動し「このような街をつくり残していきたい」と思い、建築士を志しました。大学生活では、建築士試験に必要な「力とかたち」や「住居デザイン演習」の授業に積極的に取り組みました。理解が不十分な点は先生に繰り返し質問し、一つでも多くの知識を吸収するよう努めました。課題は大変なことも多くありましたが、先生や仲間が温かく支えてくれる環境に恵まれ、安心して学ぶことができました。(資格取得:2025年12月)



原 瑞希さん
(2023年3月卒業)

幼少期の頃からお家を見るのが好きでした。素敵なお家を見つけると、私もいつかこんなお家を設計したいと思ったのが受験のきっかけです。学生時代は、設計製図の授業を通して図面を描くことに慣れるよう意識しました。課題提出に向けて1枚で満足せず、製図板を使って多くの図面を描くよう努力しました。白澤ゼミでは、住環境における換気計算や光環境について研究をしました。これらの研究は、資格取得につながる部分が多く有意義な時間でした。(資格取得:2023年12月)



環境NGOの現場で働きながら、資格を取得

2級ビオトープ計画管理士に合格しました！

垂水恵美子さん
(2010年3月卒業)

仕事の経験で専門性は高まっていましたが、試験勉強の過程では学生時代の学びも力になりました。資格を取ったことで、企業や行政、地域の方々へ説明する際に以前より自信を持って臨んでいます。大学で得た知識は、すぐに形にならなくても確かに将来の選択肢を広げてくれるものです。興味を持ったことは大切にし、自分のペースで積み重ねていってください。(資格取得:2022年2月)



ITパスポートを取得しました！

森 南陽さん
(2026年3月卒業)

授業や独学で得たITの知識を見える形で残したいと思い、ITパスポート取得を目指しました。初めて触れる専門用語や膨大な知識量に圧倒されそうになりましたが、学びがアルバイト先で役立つなど、日常的に身になっている実感が支えられました。環境情報は視野が広がる分野です。ぜひ興味を広げ、主体的に挑戦してください。(資格取得:2025年10月)

